様式第27号

管理運営評価シート（令和７年度）

施設名称	荒川総合体育館　他4施設	評価対象年度	令和　7　年度
指定管理者名	NPO法人サンスマイルあらかわ	所管課	生涯学習　　課
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）	評価者（課長）	平山　祐子

１　令和7年度の実績

（1）事業実績

利用実績	利用者数（5施設）：7,039人、スポーツ事業：8事業実施（参加者数 2,794人）
サービス向上の取組	総合体育館が利用出来ない影響による顧客離れがないように、可能な形での事業の継続

（2）管理経費

（単位：千円）

区分		前々年度（R5年度）	前年度（R6年度）	当該年度（R7年度）	合計	備考
収入	指定管理料	54,859	52,145	49,522	156,526	基本協定額：　266,837　千円
	利用料金	1,401	853	393	2,647	
	事業収入	1,120	1,012	934	3,066	
	自主事業収入	549	392	649	1,590	
	その他	0	3	38	41	
	収入合計　①	57,929	54,405	51,536	163,870	
支出	人件費	17,168	15,486	15,977	48,631	
	福利厚生費	3,612	3,314	3,672	10,598	
	事務費	1,507	1,465	1,212	4,184	
	管理費	27,683	26,557	24,713	78,953	
	水道光熱費	7,355	5,588	4,076	17,019	
	修繕料	1,800	1,980	2,154	5,934	
	使用料・リース料	1,858	1,380	1,407	4,645	
	手数料・保険料	393	677	588	1,658	
	委託料	16,277	16,932	16,488	49,697	
	事業費	2,835	2,217	2,221	7,273	
	自主事業経費	398	242	215	855	
	その他	4,506	4,976	4,596	14,078	
	支出合計　②	57,709	54,257	52,606	164,572	
収支差額（①－②）		220	148	▲ 1,070	▲ 702	

2 共通評価項目

（記入者）自己評価…指定管理者　所管評価…施設担当課

評価項目	判断基準	自己評価	所管評価	備考（所管評価） （◎、△、×のときは評価内容、その他特記事項があれば記入）
公の施設の平等な利用の確保	事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。	◎	○	協定等の内容どおり業務を履行しており適正
	社会的弱者の公平利用について、配慮されている。	○	○	
情報公開、個人情報保護の取組	情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。（書類の保管、社員への周知等）	○	○	
	情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。	○	○	
従業員の労働条件など法令遵守による管理運営	適切な労働条件や運営体制が確保されている。	○	○	
	関係する法律、条例等を理解し遵守している。	○	○	
業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供	公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。	○	○	
	施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。	○	○	
創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力	サービス向上のための取組を行っている。	○	○	
	利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が明確になっている。	◎	○	協定等の内容どおり業務を履行しており適正
	施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報や的確な手法を行っている。	○	○	
	自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。	○	○	
経営努力による経費縮減の取組	安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。	○	○	
	縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。	○	○	
	管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。	○	○	
	新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。	○	○	
適正な人員配置や人材育成の取組	適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。	○	○	
	人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。	◎	○	協定等の内容どおり業務を履行しており適正
安定的な財務基盤による管理運営	指定期間で安定的な管理運営を行う財務基盤を有している。	○	○	
事件・事故や利用者への対応	苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。	○	○	
	利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。	○	○	
地域貢献への取組	市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。	○	○	
	地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。	○	○	

◎：協定等の内容を超える水準で業務を履行している　○：協定等の内容どおり業務を履行しており適正
△：協定等の内容に対し、一部不履行がある　×：協定等の内容に不履行があり改善の必要がある　－：該当なし

３　業務実施上の課題（指定管理者が記入）

（1）指定管理業務実施上の課題

体育館は今回の改修工事で大部分が修繕されたので、あとは走路窓やトレーニングルーム器具の改修を考えていかなければならない。運動公園に関しては、野球場の建物自体や公園内の外灯や園内スピーカーなど緊急性のある設備があるが、修繕には大きな金額が必要になってくる。

（2）課題解決に向けた取組

緊急性のあるものもあるため、それぞれの状態を把握し優先度をつけながら対応していく。

（3）その他

①利用者からの主な意見や苦情、対応策

建物自体よりは、それに付随する設備や備品の老朽化が進んでいるためそれらの修繕。

②その他

４　全体的な評価

（1）指定管理者の評価

令和7年度は体育館が改修工事中であったため、特に運動公園の管理に注力をした。不具合が発生したり修繕が必要な場合には迅速に対応した。また、体育館で開催していた事業も場所や時間を変更するなどして対応し、これまで参加していただいていた方々に変わらないサービスを提供することが出来た。

（2）施設所管課の評価

荒川総合体育館の耐震及び大規模改修工事による休館期間には、利用者及び利用団体に対して施設代替の調整を滞りなくできたことは評価できる。
また、利用者の声を聞いて新たな教室を開始したり、教室の時間を変更することで参加者が増えたことは利用者のニーズに対応できていると考える。
超過勤務の基準を明確にしたことにより超過勤務を削減できたことは良い。

（3）次年度の管理運営に対する指導事項等（施設所管課）

今後も利用者のニーズに対応した様々な運動教室を開催し、多種多様な世代に対応できる教室をさらに継続していってもらいたい。
引き続き、収入確保の維持と経費節減をしていただき、適切な管理運営を実施するよう努めてもらいたい。
さらに新たな顧客を得るような事業を展開していってもらいたい。